2010年5月27日　第7号　　発行責任者　弁護士　村松昭夫(06-6361-0309)

泉南アスベスト被害救済国会通信

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団／弁護団

国の控訴断念、早期解決に向けて「解決要求テント」を設置

解決するまで闘い抜く

五月一九日の判決から一週間。原告団・弁護団は、控訴断念と早期可決を求めて、ありとあらゆる努力をしてきましたが、厚労省はいまだに原告と会うことすら拒否しています。

しかし、私たちは決してあきらめません。解決するまで、団結を強めてたたかい抜く決意です。

五月二十六日午後五時、原告団・弁護団は、厚労省の向い側にテントを設置し、不退転の決意を表明しました。小雨の中多くの支援の方から連帯のあいさつ・差し入れが届きました。

次々と激励・支援

テント設置後さっそく、国会議員の方々も次々と激励に訪れてくれました。皆さん原告団・弁護団とともに、構想断念・早期解決に取り組む決意を表明してくださいました。（敬称略）

吉川政重（民主）

山下芳生（共産）

工藤仁美（民主）

辻　恵（民主）

是非激励にお越し下さい！

2010年5月27日　第8号　　発行責任者　弁護士　村松昭夫(06-6361-0309)

泉南アスベスト被害救済国会通信

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団／弁護団

国の控訴断念は世論

首相官邸前

今こそ「いのちを守る政治」を実現してほしい。被害者に残された時間は僅かです。原告団・弁護団は、鳩山首相に直接、控訴断念・早期解決を求める声を届けたいと、五月二六日午前九時から首相官邸前で訴えを行いました。

厚労省前

五〇〇人大行動とデモ

五月二六日正午をはさみ、原告一〇名と弁護団一一名、支援者三名の計二四名、それに首都圏建設アスベスト訴訟原告団やじん肺、公害関係団体等、約五〇〇名が参加し、厚労省に対し控訴断念と早期全面解決を求める大行動、引き続いて厚労省のぐるりを一周するデモ行進を行いました。

裁判所は、直接原告らの被害の実情を自分の目で見、自分の耳で聞いて、国の責任を認める判決を書きました。厚労省は、控訴を検討しているそうですが、一度も被害者の話を直接聞いていません。控訴するかどうかは、まず何よりも原告らと面談し、目と目を合わせて、被害の実情を聞いてから決めるべきです。

原告を先頭に500人を超える隊列で「国は控訴するな」のシュプレヒコール

議員会館前でも

五月二六日午後は、議員会館前でも「国会通信」を配布。多くの議員の方々に激励の言葉をかけていただきました。

ぜひ、激励にお越し下さい

＜５月２７日の行動予定＞

※ 解決要求テント（日比谷公園南西角・噴水近く）には
　３名が常駐

9:00～9:30　首相官邸前宣伝
10:00～12:00　厚労省前宣伝
　※ 11:00　厚労省記者クラブ・記者会見
12:00～13:00　厚労省前・リレートーク
14:00～16:00　厚労省前宣伝
　　及び首相官邸前宣伝
　※ 国会通信ポスティング
　※ 議員要請行動
17:00～20:00　テントで懇談